



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合わせください
(☎ 894-3737)

第 24 回 健康福祉フェスティバル・ふれあい広場

各ブースでボランティア募集!!

出店ブース	11月8日(日)	
	募集人数	活動時間帯
キャベツ焼き	30人	8:30~15:30
水餃子 (豚汁改め)	15人	9:00~15:30
野点	15人	9:00~15:30
植木(※)	15人	9:00~15:30
本部バザー	15人	9:00~15:30

11月8日(日)、ゆうゆうセンターで健康福祉フェスティバルが開催されます。ボランティアグループ連絡会からふれあい広場に5つのブースを出店します。実行委員会準備をすすめていきますが、当日お手伝い頂けるボランティアが不足しています。ご協力をお願いいたします。10月16日(金)までにボランティアセンターへご連絡ください。

- ☆活動時間帯は午前のみ、午後のみも可
- ☆飲食ブースのお手伝いを希望される方は三角巾、マスク、手拭いをご持参ください。
- ※草花・植木の持ち込みは11月4~6日(金)、持ち込みができない方はボランティアセンターへ電話をください。
- ※草花の名前、育て方も教えてください。
- ※プラスチック製の植木鉢の寄付をお願いします。

☆バザー用品のご提供をお願いします。
物品の持ち込みは10月20日(火)~11月2日(月)までにボランティアセンターへ

「ふれあい広場」の収益金はボランティアグループ連絡会の活動費に充当しています。

外見だけでは解らない自閉症・発達障がい 障がいの者の苦痛を疑似体験



ペットボトル眼鏡をかけ、2枚重ねの軍手で折り紙にチャレンジ！

9月29日、発達障がいの人の理解を深めようと児童発達支援 放課後等デイサービス「きらり」を運営されている方のお話しを聞きました。自閉症など発達障がいについてまだまだ知らない事が多く、この障がい、外からは分からない、生まれつき脳の働き

が他の人たちと違い、もの見え方が聞こえ方が感覚が違ふのです。さまざまな感覚が、敏感すぎたり、鈍感だったり。周囲の人に合わせられない、理解されない。そんな中で、彼ら自身もいつもストレスを受けて生活していることを知りました。私たちの価値観を彼らに押し付けることは彼らにとって受け入れられないことではないです。無理やり私たちのやり方に合わせようとすると、彼らは混乱してしまいます。発達障がいの子どもとの接し方として、向き合っただけでなく、肯定文で簡潔に話す。例えば「廊下

は走らないで！」ではなく「廊下は歩こうね」とやさしくおだやかに伝えます。これは、普通の人にも言えることではないのでしょうか。講義の後には彼らの見え方、感覚で疑似体験をして折り紙をしました。視野の狭い体験で、ペットボトルの口から見ながら、2枚重ねの軍手で折る折り紙は、まさにストレスそのものでした。彼らを少しでも理解するために、この講座は、みんなにうけていただけました。らと感じる中身の濃いものでした。

茨城県台風18号災害等義援金

台風18号による被害は関東 東北に記録的な豪雨をもたらし9月10日鬼怒川左岸の決壊で茨城県常総市では甚大な被害が発生しました。この度、交野市社会福祉協議会と協力して支援の手を差し伸べようと「茨城県台風18号災害等義援金箱」をボランティアセンター1階に設置しました。みなさまの温かいご協力をお願い致します。

介護衣料「糸ぐるま」ボランティア募集！

体が不自由な方、介護が必要な方の衣類の改良や介助用品などを作っています。洋裁や手作りするのが好きな方、お手伝いください。

活動日 毎週火曜日10時～15時30分
場所 ボランティアセンター1階活動室

(3)

OSAKAボランティア手帳 申し込みご案内

使用期限：H27.12～
H30.3までの2年間

価格：300円

申し込み方法

- ①グループ所属の方はグループリーダーまで
 - ②個人登録の方はボランティアセンターまで
- 代金を添えて申し込んでください。

締切り：10月13日(火)必着
事前申し込みのため期日を超えての追加・キャンセルはできませんのでご了承ください。



(前回見本)

なかま制作スタッフ募集!

読むのが好きな人・・・
書くのが好きな人・・・
描くのが好きな人・・・
写真を撮るのが好きな人・・・

お待ちしています!
お手伝い下さる方を探しています。
いずれもボランティアセンターへお問い合わせください。



ボランティア インタビュー-37



染川 園枝さん
手話「さつき」



(おめでとう)

ボランティアを始めたきっかけは

学生の頃、手話に興味を持ち友達と始めました。その後かなりのブランクがありましたが、退職を期に広報「かたの」で手話講習会を知り、受講後「さつき」に入会しました。

やってみての感想は

聴覚障がいの人に手話でお話をしていきますが、時には間違えることもあり、その時は周りから正しい手話を教えて貰ったりして、楽しく活動しています。週一回の活動日の他に、大阪府手話通訳養成講座や交野市手話講座などを受講しました。

活動を支える家族・趣味

いまボランティアが続けられるのは、家族(主人と娘や息子)の理解があつてのことと感謝しています。またリフレッシュと体調管理のため、星田のスポーツクラブで若い人と水泳を週1〜2回楽しんでいます。お蔭で体の調子もとてもよく、大変喜んでいきます。

今後の活動について

これまでの活動の延長線上になりますが、「手話通訳者」をめざして勉強中です。みなさんの期待に沿えるよう頑張りますので楽しみにして下さいね。

ボランティアセンター／コーディネータ 天場元美さん産休で中島朋子さんへ

10月2日からボランティアセンターの天場元美さんが産休・育児のため、お休みになります。後任として中島朋子さんが仕事を引き継がれます。お二人にそれぞれの想いを語っていただきました。



中島朋子さん

はじめまして、9月下旬より、前任者の天場さんの後任として、ボランティアセンターでお仕事をさせていただきました。ただよることになりました。以前は、生活に困っている方の就労支援をしておりました。入職初日より、ボランティア活動の見学をさせていただいておりすが、皆様が生きいきと活動

されている姿に元気をもらっております。このお仕事については1年生ですが、がんばりたいと思いますのでどうぞよろしく願います。(中島朋子)

☆☆☆☆

10月より産休に入らせていただくことになりました。しばらくの間お休みさせていただきますが、またボランティアの皆様の元気な姿を拝見することを楽しみにしています。(天場元美)

リーダー会議

(9月29日)

- ☆連絡会より
- ・市民交流フェスタ報告
9月5日(土)、開催した市民交流フェスタは全体として好評であった。また9月9日の反省会での意見や今後への課題について、会計報告とあわせて報告。
- ・ふれあい広場について
11月8日開催のふれあい広場の実行委員会を9月7日に開催し、準備状況等を確認。次回、実行委員会は10月19日(月)13時から開催
- ・ボランティア交流会
9月15日に実行委員会を開催し、各担当を決めた。次回は11月17日(火)に開催し細部を検討。
- ☆社協より
- ・コーディネータ交替(4頁参照)
- ☆センターより
- ・ボランティア手帳(3頁参照) 受付



マイナンバー 制度って？

10月から、国民にマイナンバーが通知される。一人ひとり異なる12桁の番号をマイナンバーというのだそうです。

あるテレビ番組で世界で一番名数の多い国はアメリカの百万で移民国を象徴しています。実在の名字では「スミス」が多く、二百四十万弱とか、日本は三番目に名字が多く約三十万種。日本で広く名字を付けるようになったのは明治時代で税金を集め易くする為に義務化されたそうです。マイナンバーも国民は何がどうなっているのか解らないまま実施され、財布の中はカードばかり、マイナンバーカードも、常に持ち歩かなければならないように、ますますポケてはいられない。

こまねずみ